



広島交響楽団



2018「平和の夕べ」コンサート



Conductor :
Kazuyoshi Akiyama

2018.8.5日

15:00開演 (14:00開場)

Sun, Start 15:00(Open14:00)

広島文化学園HBGホール

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮：秋山和慶 ピアノ：ネルソン・フレイレ

コンサートマスター：佐久間聡一

- ◆チケット発売日/2018年6月5日(火)
- ◆チケット料金/S:5,000円 A:4,000円(学生:2,000円)

◆ブレイガイド
 JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、
 福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、
 ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、チケットぴあ(Pコード105-419)、
 ローソンチケット(Lコード61947)、中国新聞社読者広報部、
 中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局(学生券は広響事務局のみ販売)

主催/広島市、公益財団法人広島市文化財団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/ 文化庁文化芸術振興費補助金
 (舞台芸術創造活動活性化事業)

後援/ 1908-2018
 駐日ブラジル連邦共和国大使館

Program

ブラームス

交響曲第3番へ長調

Brahms: Symphony No.3 in F major, op.90

ブラームス

ピアノ協奏曲第2番変ロ長調

Brahms: Piano Concerto No.2 in B-flat major, op.83

「ブラームスは愛の調べ」
 苦悩、祈り、そして喜びへ



Piano :
Nelson Freire

2018「平和の夕べ」コンサート

～ブラームスは愛の調べ～

苦悩、祈り、そして喜びへ

アルゲリッチと並んで南米を代表する世界的ピアニスト、ネルソン・フレイレが「平和の夕べ」コンサートに出演！

ヒロシマへの想いをブラームスのピアノ協奏曲第2番に託します。

指揮は終身名誉指揮者の秋山和慶。円熟のブラームスで、フレイレとの念願の再会を果たします。



指揮 秋山和慶 Kazuyoshi Akiyama, Conductor

故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、63年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。64年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。

トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督を歴任。フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、スイス・ロマン管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、モービル音楽賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版した。

現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者を務めるほか、洗足学園音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

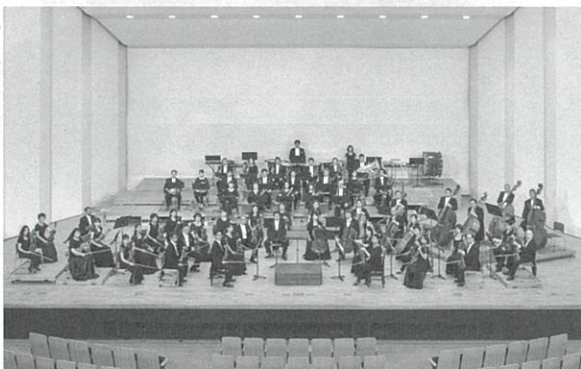
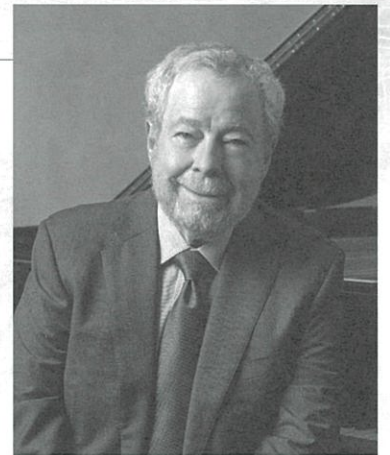
ピアノ ネルソン・フレイレ Nelson Freire, Piano

ブラジルのボア・エスペランサ生まれ。12歳でリオ・デ・ジャネイロの国際コンクールのファイナリストに選ばれ、ブラジル大統領からの奨学金を受け、ウィーンにわたってグルダの師として名高いザイドルホーファーのもとで学ぶこととなった。19歳でリパッティ・メダルを贈られ、リスボンのヴィアナ・ダ・モッタ国際コンクールで優勝。23歳でロンドン・デビューを果たしてセンセーションを巻き起こしたフレイレを、タイムズ誌は「若き鍵盤の獅子」と形容、ニューヨーク・デビューを飾った際、タイム誌は「同世代中、いや全世代中、もっともエキサイティングなピアニストのひとり」と絶賛した。

デッカレーベルの専属アーティストとして、ますます深化していく洞察力を録音の分野でも発揮、国際的な賞を多数受けている。2013年にはヴィラ=ロボスらブラジルの作曲家の音楽を集めたCDがラテングラミー賞を受賞。

ゲルギエフ、小澤征爾、ブレーズ、シャイー、デュトワ、クーベリック、プレヴィンらの指揮のもと、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ニューヨーク・フィルなどをはじめ、ミュンヘン、パリ、ウィーン、ボストン、フィラデルフィア、シカゴなどのトップ・オーケストラと共演を続けている。

2013年のドキュメンタリー映画『ネルソン・フレイレ：A man and his music』(監督：ジョアン・モレイラ・サレス)には、彼の様々な演奏会の模様が収められている。



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラ。1998年、秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザー、2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた(2017年終身名誉指揮者に就任)。2017年からは、下野竜也が音楽総監督に、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者に迎え新体制をスタートさせた。また2016年には、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデがミュージック・パートナーに就任した。また、マルタ・アルゲリッチに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動を続けることを約束した。これまでに、「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」などを受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>